

令和4年度（上級）特許調査研修（審査官の視点に近づこう！） 実施報告

令和5年3月

独立行政法人工業所有権情報・研修館（INPIT）では、令和4年度（上級）特許調査研修（審査官の視点に近づこう！）をオンライン講義と会場での検索実習のハイブリッドにて2回実施いたしました。本研修では、効果、効率的な先行技術調査手法や、進歩性の判断の仕方などについて、講義だけではなく、演習・グループディスカッション、特許審査官が使う「高度検索閲覧用機器」（一部機能制限あり）を利用した調査実習を通じて学習いただきました。

1. 研修の概要						
(1) 日程	第1回			第2回		
	6月27～28日,30日～7月1日			12月19～20日,22～23日		
(2) 開催地	東京都(6月27～28日はオンライン)			東京都(12月19～20日はオンライン)		
(3) 参加人数 (分野別内訳)	29 名			19名		
	機械・装置	化学	電気・電子	機械・装置	化学	電気・電子
	10 名	9 名	10名	5名	4名	10名
(4) 講師	8 名			8 名		
2. アンケート結果 (アンケート回収率:第1回 89%, 第2回 89%)						
(1) 研修全体として	人数		割合	人数		割合
・非常に有意義であった	13 名		50.0 %	9 名		53 %
・有意義であった	11 名		42.3 %	8 名		47 %
・どちらとも言えない	2 名		8 %	0 名		0 %
・有意義でなかった	0 名		0.0 %	0 名		0 %
・とても有意義でなかった	0 名		0 %	0 名		0 %
・無回答	3 名		—	2 名		—
(2) 主な意見・要望	・元審査官の審査の進め方について実習を交えて学ぶことができて非常に有意義であった。 ・審査において留意すべき点について、講義だけでなく具体的な演習を通してお話を聞くことができ、大変役に立った。また、グループ演習を通して、他の参加者の調査観点を知ることができ、自分に不足している点を見つめ直す良い機会となった。 ・講師が少人数についてくれていて、学ぶ機会が多かった。実習によって身につける感覚が多かった。 ・特許分類体系や審査基準について理解を深めることができた。演習では、課題とされた具体的な調査対象に関して講師の考え方を教えていただいたことが勉強になった。また、演習の議論では、他の受講生の意見や見方が刺激になり、楽しんで勉強できた。 ・座学の講義の内容を応用する形で実習が行われたため、理解が深まった。					